

急性^{さい}膵炎とは…

感冒性胃腸炎になった人のうち、いつまでも強い吐き気(ムカムカ)がおさまらない場合、急性膵炎の合併が疑われます。

<1>症状

- *吐き気、食欲不振、胃部重苦感、腹痛、背部圧迫感、下痢(脂肪性下痢)

<2>膵臓の働き

①消化液(膵液)の生産と腸への分泌

- *アミラーゼ(炭水化物、デンプン質の消化)、リパーゼ(脂肪の消化)、トリプシン(タンパク質の消化)という、消化液を分泌して胃で消化されたものを更に消化し、小腸へ送ります。

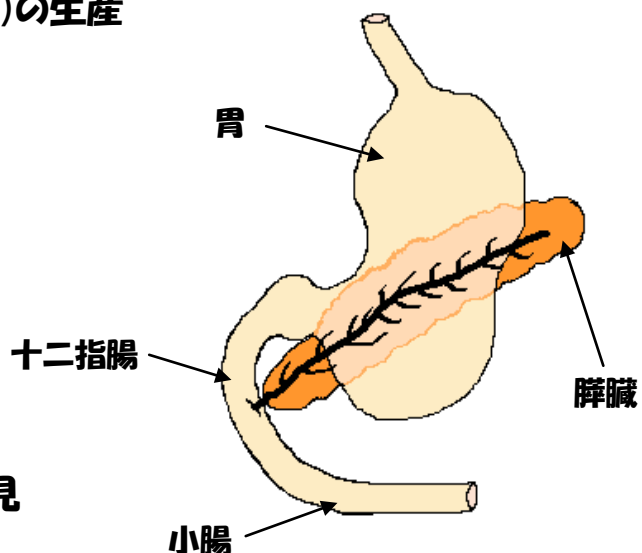
- *膵臓の炎症によって、小腸(十二指腸)へ膵液が流れにくくなると、膵液は、膵臓の中にあふれ出し、血液中へ逆流します。

②ホルモン(インスリン、グルカゴン)の生産

- *血糖の調整をするホルモン

<3>診断

- *血液中のアミラーゼ、リパーゼ、トリプシンの増加
- *尿中のアミラーゼの増加
- *エコー検査での主膵管の拡張所見



<4>治療

- ①膵臓の炎症を抑える点滴治療
- ②胃での消化を助ける消化酵素剤(タフマックE)と胃酸分泌を抑えるH₂ブロッカー薬(ガスターなど)

<5>治療中の食生活

- *吐き気などの自覚症状の強いときは無理して食事をとらなくてもよいです。
- *くだものや水分・スポーツドリンク(イオンサフライ、アミノサフリ)を積極的に摂って下さい。
- *脂肪、タンパク質の消化が炎症によって不十分になるので、油っこい食事やお肉類は治るまで控えて下さい。(植物性タンパクは可)
- *米、めん類などの炭水化物は、よくかんで食べて下さい。
(唾液の中のアミラーゼが膵臓からのアミラーゼの不足を補うため)
- *お薬は食事をする、しないに関係なく、きちんと飲んで下さい。

<6>予後(病気の展開)

- *早期診断がつき、すみやかに治療開始すれば5~7日間で治ります。
- *アルコールの飲みすぎ、胆石、糖尿病などの条件がなければ、再発したり、慢性化することはほとんどありません。
- *念のため、1ヵ月後に血液検査を受けましょう。